

平成26年度事業計画

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I. 基本方針

当財団においては、財政的支援環境の大きな変化の中で、将来に向けての自律的な事業の推進を目標としながら、関係の皆さま方のお力添えを頂きながら移行認定を受け、公益財団法人として新たな一步を踏み出すことが出来ました。

平成26年度の事業におきましても、平成24年度から方針転換を行いました通り、財団の財政基盤ならびに事務局人員体制を勘案し、引き続き「全日本マイクロマウス大会の継続的な開催」を最優先課題とし、特に全国大会の開催についての準備・運営は年度毎の実行委員会を中心としながら、参加者を主体とするボランティアの協力を得て運営・実施して行く所存で有ります。

平成24年度におきましては、そのひな形として実行委員会の委員長を芝浦工業大学の長谷川忠大先生にお引き受け頂き、平成25年度については、その継続的路線として東京理科大学の中村文一先生が実行委員長として、流山市生涯学習センターにて、従来に増して多くの参加者を得て大会を開催することが出来ました。

一番の懸案事項でもあった全日本大会の開催経費についても、共催団体および協賛企業等のご協力により、その直接費用に関してはほぼ賄える様になって来ております。

平成26年度は、東京工芸大学の鈴木秀和先生に実行委員長をお願いし、既に具体的な準備についてその活動を開始しております。

今後とも引き続き当財団事業につき、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

II. 事業の実施計画

1. 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

(1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

①-1 マイクロマウス2014(第35回全日本マイクロマウス大会)の開催

昨年度に続き、新たに設置する「マイクロマウス2014実行委員会」によって計画・準備を行いながら、当日の運営についてもボランティアグループの協力を得る事とする。

また、常置委員会としてのマイクロマウス委員会についても、それに伴う役割分担や協力体制の確立の為に、さらなる再編成を行う。

期 日：2014年11月21日(金)～23(日) (予定)

会 場：東京工芸大学 厚木キャンパス 体育館 (予定)

① -2 マイクロマウス各地区大会ならびに全国学生大会の開催と助成

期 間：2014年7月～11月(地区大会8か所/全日本学生大会1か所で開催)

場 所：全国地方支部等にて開催

①-3 マイクロマウス普及啓発の為に各地科学館等における広報イベント等の実施

② つくばチャレンジ2014への協力

主催：つくば市、つくばチャレンジ実行委員会

共催・後援：関連団体

協力：当財団、ほか関連団体

日程：本走行・2014年11月16日(日)(実験走行/7月～11月の間10回実施)

(2) その他の普及活動

広報事業

財団の事業活動について、ホームページならびにメールマガジン等の発行を中心としながら、財団事業の情報発信を積極的に実施する。

(3) 情報交流・国際交流に関する事業

「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2014 (IROS2014)」

(知能ロボットとシステムに関する国際会議2014：略称IROS2014)への協力

期 間：2013年9月14日(日)～18日(木)

場 所：シカゴ市 イリノイ州 米国

Ⅲ. 資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達、設備投資(除却または売却を含む)については、今年度は重要なものは有りません。

Ⅳ. 総務

1. 会議の開催

(1) 定例理事会の開催

- ・ 平成26年6月
- ・ 平成27年3月

(2) 定時評議員会の開催

- ・ 平成26年6月

以上